

青少年の学校や近隣における ソーシャル・キャピタル尺度の作成

○高倉実(琉球大学)・濱畑有衣子(琉球大学)・上地勝(茨城大学)・
栗原淳(佐賀大学)

第62回日本学校保健学会 学会賞受賞講演

2015年11月28日

(岡山コンベンションセンター)

本研究はJSPS科研費23300246の助成を受けた。

開示すべきCOIはない。

School Health Vol. 10, 2014

【Original Article / 原著】

Measurement of Social Capital at School and Neighborhood among Young People

Minoru Takakura, Yuiko Hamabata, Masaru Ueji and Atsushi Kurihara
[School Health Vol. 10, 1-8, 2014]

<http://www.shobix.co.jp/sh/tempfiles/journal/2014/067.pdf>

背景

- ▶ 近年、健康の社会的決定要因としてソーシャル・キャピタルが注目されてきた。
 - ▶ 健康日本21 (第2次)
- ▶ ソーシャル・キャピタルとは、一般的には、人々の中の協力を容易にさせる信頼、互酬性の規範、ネットワークといった社会的資源のことである (Inaba, 2013)。
 - ▶ 個人あるいは集団の特性
- ▶ ソーシャル・キャピタルが豊かな社会は、健康に関する規範も高くなり、健康情報が伝わりやすく、人々が助け合い、心理社会的ストレスも少なくなるために、人々の健康状態も良好になると考えられている (Kawachi & Berkman, 2000)。

青少年のソーシャル・キャピタル測定に関する問題点

- ▶ 青少年のソーシャル・キャピタルは他者評定や既存統計などのマクロ指標による評定が多く、青少年自身の認知によるソーシャル・キャピタルの評定が不足している (Waterston et al., 2004)。
- ▶ 先行研究では単独項目による測定が多く、精神測定学的検討を経て作成されたソーシャル・キャピタル尺度が不足している (Almgren et al., 2009; Paiva et al., 2014)。
- ▶ 青少年を対象とした研究のほとんどは、家庭や近隣におけるソーシャル・キャピタルに限定されており、青少年にとって重要なコミュニティである学校を準拠集団としたソーシャル・キャピタル研究が少ない (Morrow, 1999)。

目的

- ▶ **本研究は、青少年の自己評定によるソーシャル・キャピタル尺度を作成し、その妥当性・信頼性を検証することを目的とした。**
- ▶ **本研究のソーシャル・キャピタルは「社会における信頼，互酬性の規範，ネットワーク」と定義した。**
 - ▶ 認知的要素と構造的要素
 - ▶ 準拠集団として学校および近隣地域を想定した。
- ▶ 帰属意識，地域の楽しさ，近隣の質（騒音，ゴミ，落書き），安全や犯罪は，ソーシャル・キャピタルとアウトカムの間にある中間変数であり，ソーシャル・サポートや社会的統制は，ソーシャル・キャピタルのアウトカムであるという考えもある（Harpham, 2008）。本研究では概念的に精選された尺度項目にするために，ソーシャル・キャピタルの中間変数あるいはアウトカムともとれる概念的に曖昧な変数を含めなかった。

方法 1

▶ 対象

- ▶ 著者らの研究フィールドである茨城県，佐賀県，沖縄県から，それぞれ協力の得られた高等学校2校（普通科1校，専門学科1校），計6校を選出した。
- ▶ 各学年から1～3学級を選出し，計37学級に在籍する生徒1,362名を便宜的標本として，学級において無記名自記式の質問紙調査を行った（男子45%，女子55%；1年生34%，2年生32%，3年生34%；普通科53%，専門学科47%；茨城31%，佐賀36%，沖縄33%）。調査期間は2011年6月～7月（1校のみ9月）であった。
- ▶ 安定性を検討するために，上記の調査対象者の他に，協力校1校の各学年1学級に在籍する生徒118名を，個人を同定できない方法を用いて2週間間隔で追跡調査した。

方法 2

- ▶ **ソーシャル・キャピタル項目**
 - ▶ **学校における認知的ソーシャル・キャピタル**
 - ▶ 生徒間の信頼や互酬性, 先生に対する信頼(7項目 5件法)
 - ▶ **近隣における認知的ソーシャル・キャピタル**
 - ▶ 近所の人々の信頼や互酬性(5項目 5件法)
 - ▶ **学校における構造的ソーシャル・キャピタル**
 - ▶ 学校の組織活動(生徒会活動, 運動・スポーツ系部活動, 文化系部活動, その他の活動)のいずれかに参加(1項目 2値化)
 - ▶ **近隣における構造的ソーシャル・キャピタル**
 - ▶ 住んでいる地域の組織活動(青年会, スポーツクラブ, 文化・学習サークル, 音楽サークル, ボランティア活動, ボーイスカウト・ガールスカウト, YMCA・YWCA, 小学校・中学校の同窓会, 親戚の集まり, その他の活動)のいずれかに参加(1項目 2値化)

方法 3

▶ 予測的妥当性の外的基準

- ▶ 主観的健康(とても健康・まあまあ健康・あまり健康でない・まったく健康でない)
- ▶ 抑うつ症状(CES-D)
- ▶ 身体活動(PACE+ 身体活動群/不活動群)

▶ 併存的妥当性の外的基準

- ▶ 学校の安全性(5件法)
- ▶ 近隣の安全性(5件法)

- ▶ 本研究計画は、琉球大学疫学研究倫理審査委員会の承認を得て実施した。

認知的ソーシャル・キャピタル項目と因子分析結果

Table 1. Descriptive statistics and factor analysis of cognitive social capital items

		Mean	S.D.	Skewness	Kurtosis	Factor loadings		
						1	2	
x2	Students in my school are kind and dependable	私の学校の生徒は、親切でたよりになる	3.7	1.0	-.7	.5	.943	-.068
x3	Students in my school help each other	私の学校の生徒は、お互いに助け合う	3.8	.9	-.7	.5	.910	-.068
x1	Students in my school can be trusted	私の学校の生徒は、信頼できる	3.6	1.0	-.7	.3	.889	-.021
x4	Students in my school usually try to be helpful	私の学校の生徒は、多くの場合、他の人の役に立とうとする	3.4	1.0	-.5	.0	.839	.022
x5	Students in my school understand each other	私の学校の生徒は、お互いに理解している	3.4	1.0	-.3	-.1	.816	.012
x7	Teachers in my school are kind and dependable	私の学校の先生は、親切でたよりになる	3.3	1.0	-.5	.1	.482	.167
x6	Teachers in my school can be trusted	私の学校の先生は、信頼できる	3.3	1.0	-.5	-.1	.481	.165
x11	The neighbors help each other	近所の人々は、お互いに助け合っている	3.4	1.0	-.5	.3	-.025	.917
x10	The neighbors usually try to be helpful	近所の人々は、多くの場合、他の人の役に立とうとする	3.2	1.0	-.2	.2	.002	.877
x9	The neighbors are kind and dependable	近所の人々は、親切でたよりになる	3.2	1.0	-.4	.1	.030	.852
x12	The neighbors get along with each other	近所の人々は、お互いにうまくいっている	3.4	1.0	-.5	.3	.006	.832
x8	The neighbors can be trusted	近所の人々は、信頼できる	3.3	1.0	-.4	.2	.048	.809
Eigen value							5.7	2.4
Percentage of contribution							47.7	20.4

Bold value represents factor loading more than 0.4

各ソーシャル・キャピタル尺度得点と信頼性係数

	Mean	S.D	range	alpha	retest
学校における認知的ソーシャル・キャピタル	24.4	5.7	7 - 35	.919	.669
近隣における認知的ソーシャル・キャピタル	16.6	4.4	5 - 25	.936	.808
学校における構造的ソーシャル・キャピタル	.7	.5	0 - 1	-	.606
近隣における構造的ソーシャル・キャピタル	.4	.5	0 - 1	-	.483
妥当性外的基準					
学校安全性	3.3	1.2	1 - 5		
近隣安全性	3.6	1.0	1 - 5		
主観的健康	3.1	.7	1 - 4		
抑うつ症状	38.1	9.0	20 - 77		
身体活動	.3	.5	0 - 1		

各ソーシャル・キャピタル尺度と学校・近隣安全性、健康指標との関連 (Spearman's ρ)

	併存的妥当性		予測的妥当性		
	学校 安全性	近隣 安全性	主観的 健康	抑うつ 症状	身体 活動
学校における認知的ソーシャル・キャピタル	.633*	.263*	.308*	-.390*	.159*
近隣における認知的ソーシャル・キャピタル	.296*	.507*	.182*	-.245*	.152*
学校における構造的ソーシャル・キャピタル	.089	.068	.004	-.066	.373*
近隣における構造的ソーシャル・キャピタル	.079	.112*	.046	-.066	.050

*: $p < 0.001$

考察

- ▶ 青少年の認知的ソーシャル・キャピタル尺度は、学校および近隣における認知的ソーシャル・キャピタル項目から構成され、**因子的妥当性を有することを確認した。**
- ▶ いずれのソーシャル・キャピタル尺度も**適当な安定性を示した。**
- ▶ ソーシャル・キャピタルの中間変数と考えられる学校や近隣の安全性との間に正の関連が認められ、各ソーシャル・キャピタル尺度の**併存的妥当性を確認**できた。朝倉(2011)は、中学生を対象に、安全性を含む近隣環境の質が個人の認知的ソーシャル・キャピタルと関連していることを示し、本研究と同様の知見を報告している。

考察

- ▶ 認知的ソーシャル・キャピタル尺度は、いずれの健康指標とも期待された方向の関連性が認められ、**予測的妥当性を示した。**
- ▶ 学校の構造的ソーシャル・キャピタルは身体活動と正の関連を示したが、他の構造的ソーシャル・キャピタルは健康指標との間に関連が認められなかった。
- ▶ 先行研究でも、構造的ソーシャル・キャピタルに比べて、認知的ソーシャル・キャピタルは一貫して強く健康指標と関連することが報告されている (Lindström 2008)。本研究もこれを支持した。
- ▶ 構造的ソーシャル・キャピタルには健康にネガティブに影響する組織活動も含まれるために、健康への正の影響が相殺されて関連が認められなかったことも考えられる (Takakura, 2015)。

結論

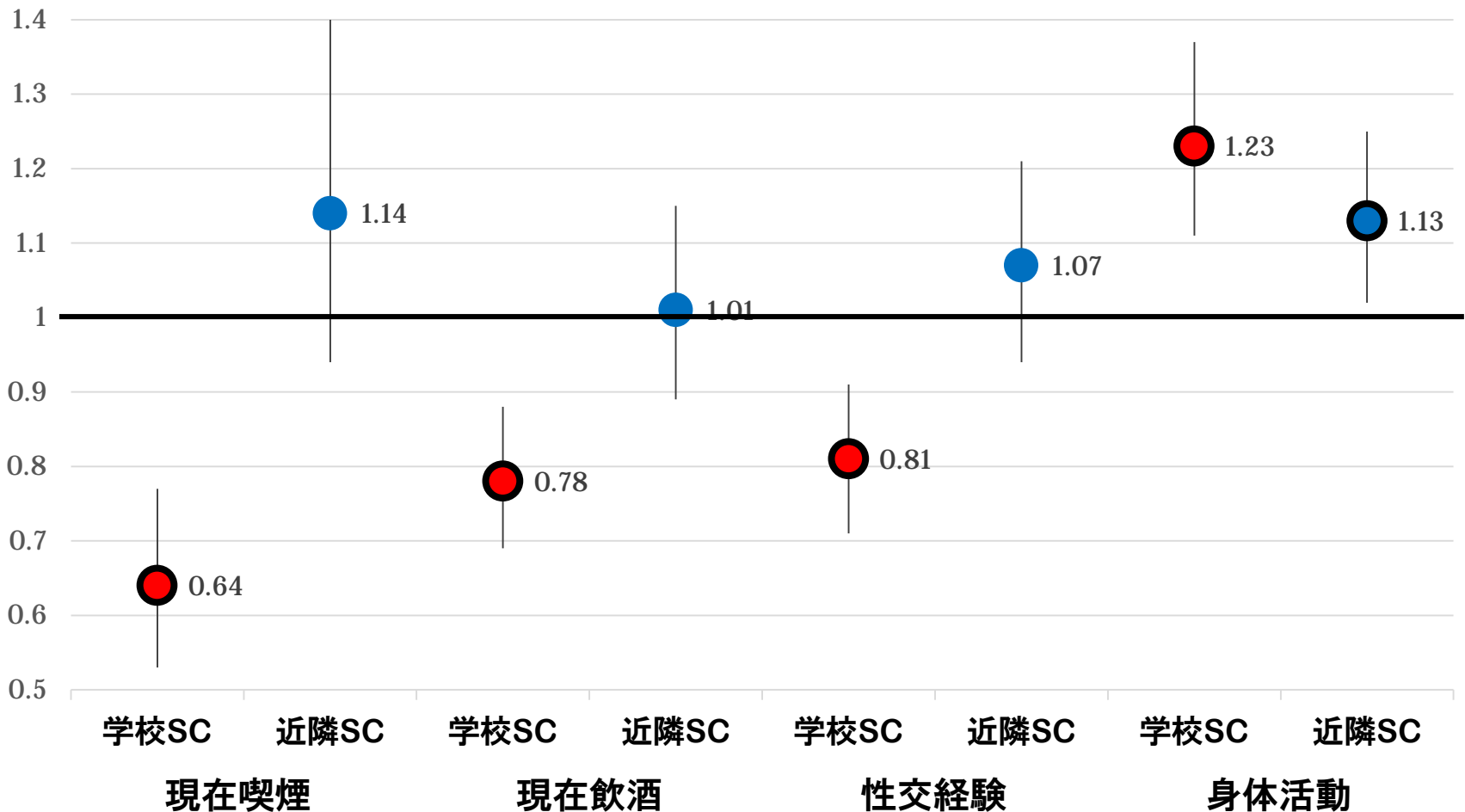
- ▶ 本研究で作成した青少年のソーシャル・キャピタル尺度のほとんどは、概ね適当な妥当性と信頼性を有することが示唆された。しかし、構造的ソーシャル・キャピタル尺度の妥当性については決定的ではなかった。
- ▶ 今後は、対象集団を広げて調査を行い、尺度の標準化などの検討を重ねる必要がある。
- ▶ 学校あるいは近隣におけるソーシャル・キャピタルの文脈効果(集団的効力)を明らかにするために、集団レベルのソーシャル・キャピタルの健康影響を検討するマルチレベル研究を蓄積する必要がある。

おまけ

- ▶ 「沖縄の高校生の学校や近隣におけるソーシャル・キャピタルと健康関連行動」
(第60回日本学校保健学会 2013/11/17)
- ▶ 「高校生のソーシャル・キャピタルと健康に関する地域比較」
(第61回日本学校保健学会 2014/11/16)
- ▶ 「学校におけるソーシャル・キャピタルと健康指標に関するマルチレベル分析」
(第62回日本学校保健学会 2015/11/29 AM P-29a05)

個人レベルの学校・近隣SCと健康関連行動との関連

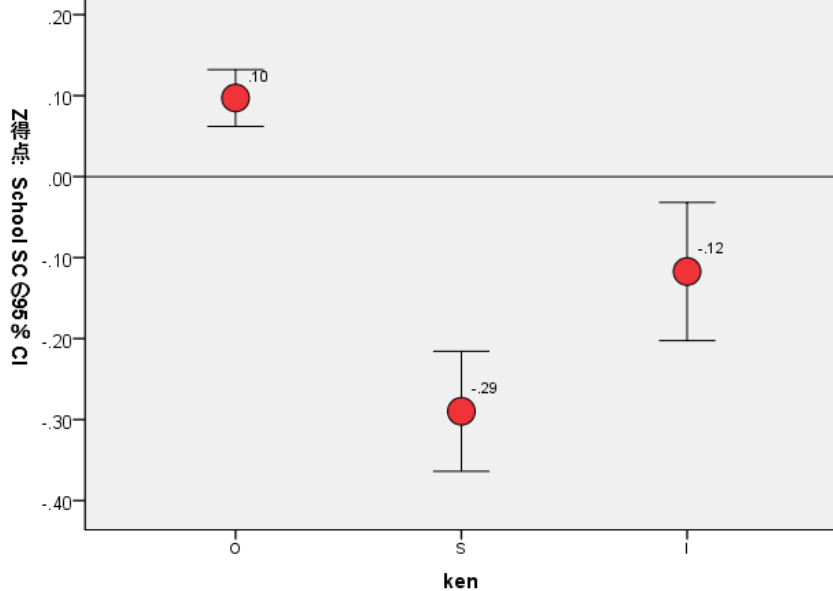
OR (各SCが1SD増加した場合. 性, 学年, 学校種, 家族構成, 親の学歴, 両SCを同時投入し, 調整した)



おまけ

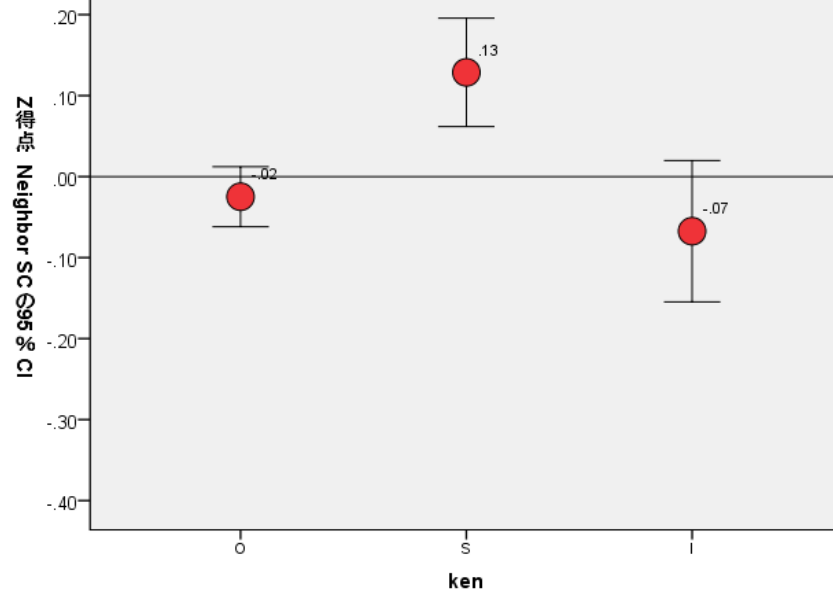
- ▶ 「沖縄の高校生の学校や近隣におけるソーシャル・キャピタルと健康関連行動」
(第60回日本学校保健学会 2013/11/17)
- ▶ 「高校生のソーシャル・キャピタルと健康に関する地域比較」
(第61回日本学校保健学会 2014/11/16)
- ▶ 「学校におけるソーシャル・キャピタルと健康指標に関するマルチレベル分析」
(第62回日本学校保健学会 2015/11/29 AM P-29a05)

学校における認知的SC

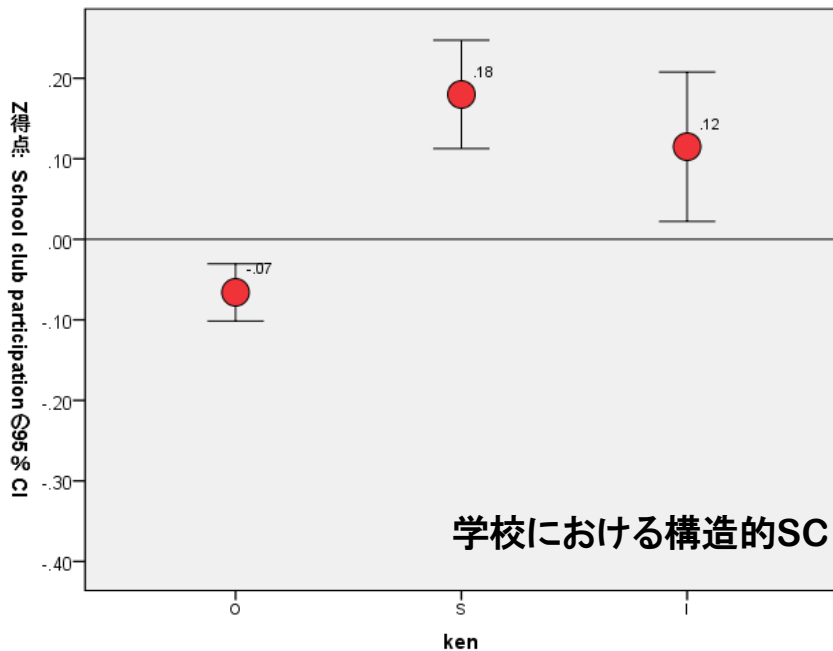


地域別にみた学校における認知的ソーシャル・キャピタル標準化得点

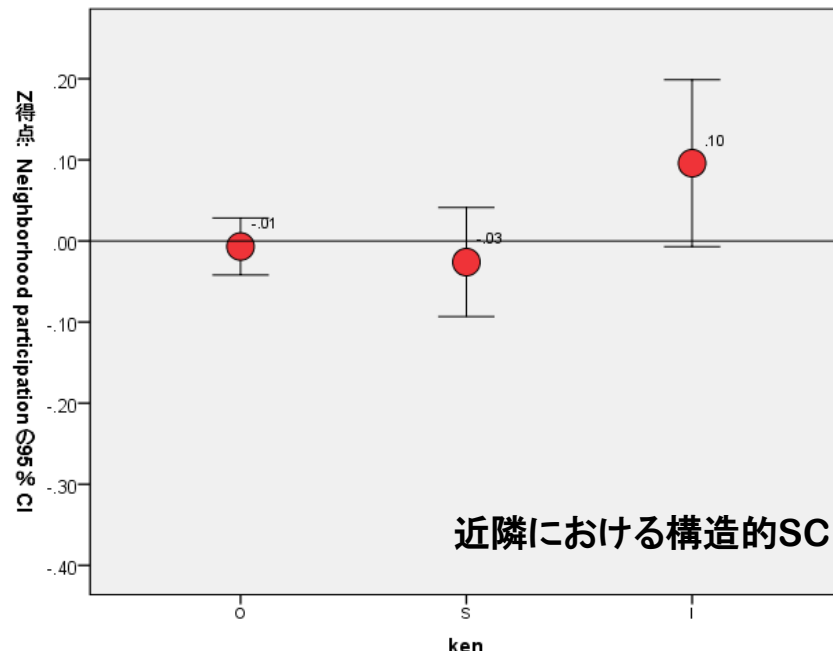
近隣における認知的SC



地域別にみた近隣における認知的ソーシャル・キャピタル標準化得点



地域別にみた学校における構造的ソーシャル・キャピタル標準化得点



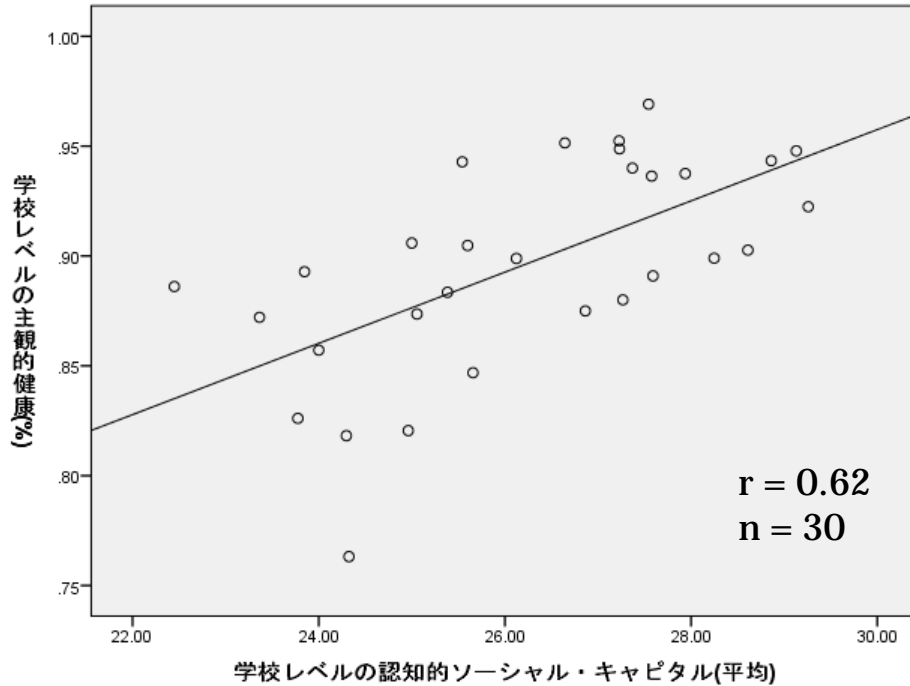
地域別にみた近隣における構造的ソーシャル・キャピタル標準化得点

おまけ

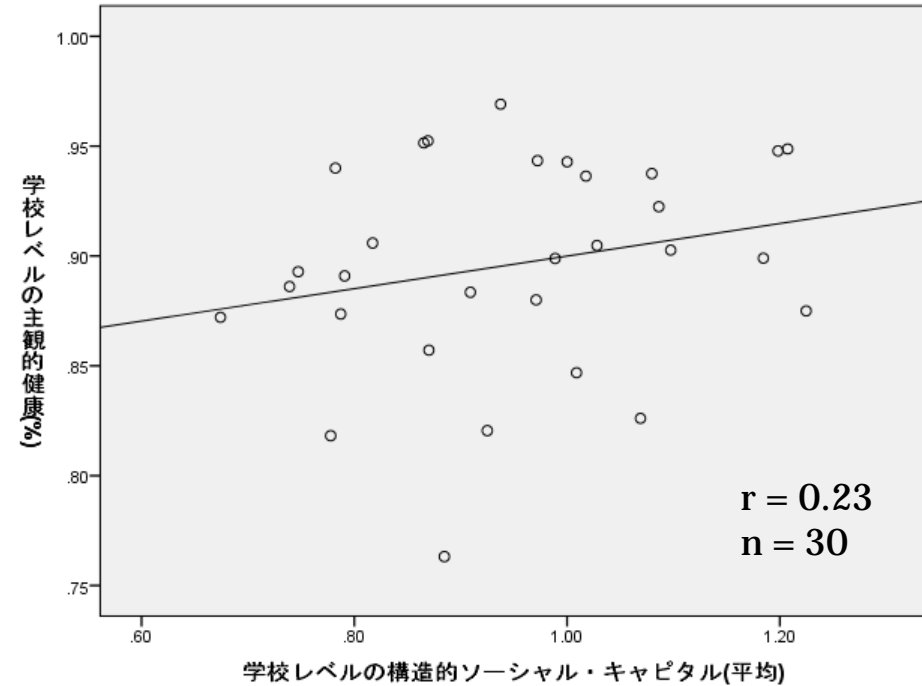
- ▶ 「沖縄の高校生の学校や近隣におけるソーシャル・キャピタルと健康関連行動」
(第60回日本学校保健学会 2013/11/17)
- ▶ 「高校生のソーシャル・キャピタルと健康に関する地域比較」
(第61回日本学校保健学会 2014/11/16)
- ▶ 「学校におけるソーシャル・キャピタルと健康指標に関するマルチレベル分析」
(第62回日本学校保健学会 2015/11/29 AM P-29a05)

学校レベルのソーシャル・キャピタルと主観的健康

学校レベルの認知的ソーシャル・キャピタルと主観的健康



学校レベルの構造的ソーシャル・キャピタルと主観的健康



おまけ



Takakura M. Does social trust at school affect students' smoking and drinking behavior in Japan? *Social Science & Medicine* 2011;72:299-306.

学校における一般的信頼が高校生の喫煙・飲酒行動に影響するか？



Takakura M. Relations of participation in organized activities to smoking and drinking among Japanese youth: contextual effects of structural social capital in high school. *International Journal of Public Health* 2015;60:679-689.

高校生の構造的ソーシャル・キャピタル(組織活動参加)が喫煙・飲酒行動に及ぼす文脈効果

ありがとうございました。